

来週の「売り物」記事はこれ



2012年8月31日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

大型ルポシリーズ「S (ストーリー)」

巨大地震の衝撃

苦悩する学者たち 朝刊9月2日(日)



おびただしい命が奪われた東日本大震災。被災者たちの苦しみはいまも続いています。東北沖でのマグニチュード9というすさまじいエネルギーの放出は「想定外だった」と、専門家のあいだで今も言われ続けています。聞きようによっては、学者たちの苦しい釈明として耳に響きます。そして、地震予知や津波を専門とする第一線の学者のあいだから、ため息混じりに「私たちの学問は社会に役立ってきたのだろうか」という声が漏れます。巨大地震に直面し、今なお苦悩する地震学者、津波学者の心のうちに、科学記者が迫ります。

日曜朝は『S』で始まる——。ご期待ください。

野菜のスムージー くらしナビB面 4日(火)



野菜や果物をミキサーにかけた「スムージー」が人気です。とろっとして飲みやすく、忙しい朝も手軽にビタミンやミネラルを補給できます。料理研究家の浜内千波さん=写真=が、パプリカやカボチャのスムージーを紹介します。豆乳や青じそも取り入れ、ゴクゴク飲んで夏の疲れを吹き飛ばしてください。

介護者支援の取り組み くらしナビA面 5日(水)

家族を在宅介護している人は大きな負担を抱え、自ら体調を崩してしまいがちです。岩手県の80代男性は、認知症の妻を介護するうち、やせ細ってしまいました。自治体が相談員を派遣し、介護サービス活用を促すなど、幅広い支援が求められています。1人で負担を抱え込まないように、集いの場を設けているNPOの取り組みも紹介します。



「こうのとりを追って」番外編 くらしナビA面 6日(木)



妊娠中に胎児の障害の有無を調べる「出生前診断」。英国では母体血清マーカーなどの検査が普及しており、出生前診断に基づく人工中絶が認められています。出生前診断は障害者への偏見を招くなどの意見もあり、議論が分かれています。英国の実態を通して、診断の課題や命の重みを考えます。

— 躍進する部屋、その秘密は？ —

大相撲秋場所を前に連載 5日から

大相撲秋場所は9日、初日を迎えます。大関・日馬富士の横綱挑戦が話題になる場所ですが、一方で地道な努力で番付を上げる力士にも注目したいところ。運動面で5日スタート予定の連載記事では、躍進ぶりが目立つ境川、阿武松、高田川の3部屋を取り上げ、その強さの秘密を探ります。このうち、妙義龍、豪栄道で東西の関脇を独占した境川部屋（師匠は元小結・両国）は、伝統の厳しいけいこだけでなく、工夫をしながら力士を育てました。熱意のこもる指導ぶりをレポートします。



シリーズインタビュー「時代を駆ける」

少女漫画家・京都精華大学マンガ学部教授 竹宮恵子さん

9月4日から



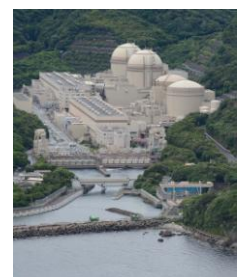
少女漫画界の大御所、竹宮恵子さん（62）＝写真＝は2000年から京都精華大学マンガ学部教授を務め、漫画家志望の若者の育成に当たっています。漫画の活用範囲の拡大するため、「機能漫画」と呼ぶジャンルを開拓し、今年7月にはアスベスト禍の全貌を漫画で描いた本を学生を指導して出版しました。高校時代のデビューから人気作家となり、後進の教育に尽力する現在までの歩みを語ってもらいます。

検証 本当に必要だったのか？

関西電力大飯原発3、4号機再稼働

夕刊特集ワイド面 9月3日（月）

「夏場に電力が足りなくなる」「経済がダメになる」と、野田佳彦首相が多い原発再稼働を決断した。夏も終わろうとしている今、結果的に再稼働なしでも電力が足りていた可能性が高まっているが、専門家の間からは「根拠自体があいまいだった」という声が出ている。果たして、電力需要、他の電力会社からの融通電力量、揚水電力発電量の見積もりは適正だったのか。



大飯原子力発電所